

ぶんかざいまるちなび

No.65

## 文化財 知 ナビ

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

ほっかいどうちようきゅうほんちようしゃ あか ちようしゃ  
北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）リニューアル

令和7年（2025年）7月25日、国から重要文化財に指定されている「北海道庁旧本庁舎」（赤れんが庁舎）がリニューアルオープンします！

北海道庁旧本庁舎は、札幌市の都心部に建つ国指定の重要文化財です。中央の八角塔は約33m、10階建てビルと同じくらい高くて大きな洋風建築物で、「赤れんが庁舎」という愛称のとおり、赤いれんがで造られています。

今から137年前の明治21年（1888年）、まだ日本人が洋風建築を学び始めたばかりの時代に建てられました。この頃、大きなれんが造りの建築物は外国人技師が設計することがほとんどでしたが、赤れんが庁舎は平井晴二郎氏をリーダーとする北海道庁の技師たちによって設計されました。日本の建築史を語る上で重要な建築物です。

完成後まもなく八角塔が取り外されたり、明治42年（1909年）には火災で焼けてしまったりと、何度も改修を重ねましたが、昭和43年（1968年）の大改修で最初の姿に復原されました。

それから年月が過ぎ、建物の内も外も劣化が進んだことから、約50年ぶりの大改修を行うことが決まり、令和2年（2020年）から工事が進められてきました。

**今年の夏、ついに大改修が完了し、生まれ変わった赤れんが庁舎がオープンします！**

《リニューアル後の赤れんが庁舎》

屋根を葺き替えて  
ピカピカに！



前よりもっと  
じしん  
地震に強く！

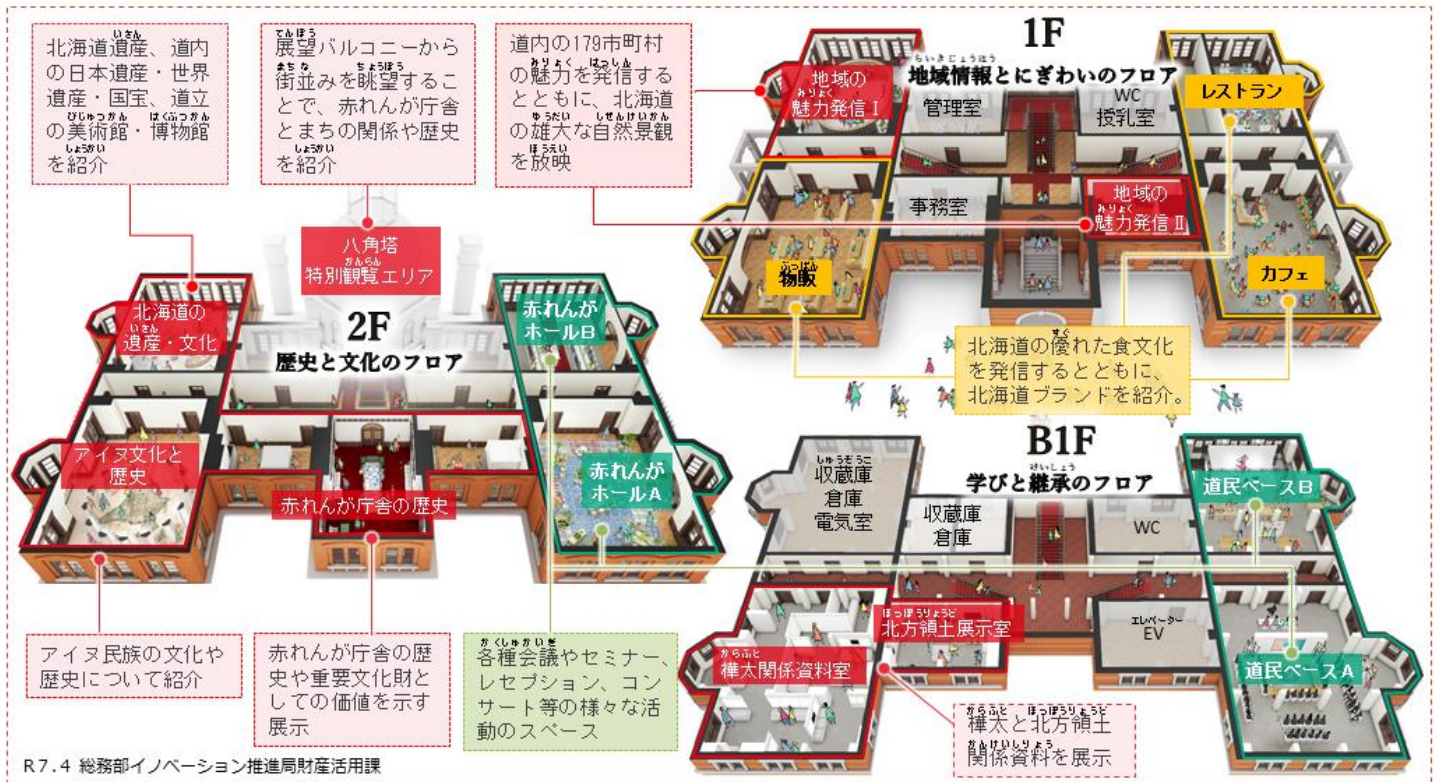
写真提供：北海道  
総務部イノベーション  
推進局財産活用課

北海道総務部イノベーション推進局財産活用課のホームページで、リニューアルについて詳しい情報を公開しています。ぜひご覧ください。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zsk/fm/akarengarenewal/top.html>



## 《リニューアル後の赤れんが庁舎 館内の様子》



昭和の大改修の際に、敷地の北側から北海道庁の前身である「開拓使」の札幌本庁舎の跡が発掘され、赤れんが庁舎と合わせて「開拓使札幌本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎」として国から**史跡**に指定されました。建築史だけでなく、北海道の開拓の歴史にとっても貴重な遺跡です。

今回の大改修の際にもたくさんの遺物が見つかりました。これらは116年の時を超えて、明治の火災の痕跡を現在に伝えています。



## 他にはどんな文化財が指定されているの？

これまでに指定された北海道指定文化財については、北海道教育委員会文化財・博物館課のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-do-sitei.html>



文化財ニュースレター 文化財まる知ナビ No.65

発行 令和7年7月22日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

【お問い合わせはこちらへ】電話 011-231-4111（内線）35-618 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。